

令和 8 年 3 月 1 2 日
第 2 回新宿区リサイクル清掃審議会資料

次期一般廃棄物処理基本計画策定等に関する意見要旨

令和 7 年 1 1 月 1 8 日付け 7 新環ごご第 1 0 5 6 号により送付した次期一般廃棄物処理基本計画策定等に係る資料送付における各委員からの意見をまとめたものです。

1 食品ロス削減・3R の推進

- (1) 食品ロス削減協力店、TABETE、mottECO 普及コンソーシアムなど積極的に事業者との連携を進めてほしい。
- (2) 事業者の食品ロス削減について
 - ① 食品リサイクルの仕組みづくりの支援など、事業者に対して行政の的確なアドバイスによる飼料・堆肥化等を検討してほしい。
 - ② 事業系の割合が 8 割以上であることを踏まえ、重点的な施策を行うとともに、区民への情報公開を進めてほしい。
- (3) 近隣に食品ロス削減協力店がないことや、フードドライブは賞味期限などの条件が厳しいことなどにより、実感や問題意識が湧きにくいのではないか。
- (4) 食品ロスダイアリーのモニター制度について
 - ① 買い物や冷蔵庫収納の工夫等の周知啓発により施策効果を高めてほしい。
 - ② モニターに参加したことで、意外な食品ロス削減の原因を発見できた。少人数や高齢者世帯の場合、出来合いの総菜などの量が多く、完食せず廃棄せざるを得ないなどと感じた。
- (5) 「使い捨てプラスチック削減」と「食品ロス削減」などに重点をおいた施策を進めてほしい。
- (6) 次期計画策定における 3R の更なる推進について
 - ① 「発生抑制策」と「リユース対策」を強化するとともに「再生資源活用」による地域循環型社会の創出を意識してほしい。
 - ② 時代や社会情勢、地域特性に合った 3R のアプローチをしてほしい。
- (7) 民間事業者や NPO などとの協働の視点も積極的に取り入れ、ごみにしない方法は色々あることをもっと周知してほしい。
- (8) 洋服ポストについて、各リサイクル活動センターだけでなく、衣類のリユース拠点を増やしてほしい。
- (9) 環境学習センターの不用品回収について、環境関連施設間の事業連携を強化できないか。

- (10) 保育園、こども園、幼稚園の環境教育の実績が、ここ5年間実績が無いのはなぜか、今度はどうのように取り組むのか。ごみだけでなく環境分野全体で取り組んだり、イメージキャラクターを取り入れてはどうか。

2 事業系ごみの削減

- (1) インバウンドの急増を踏まえ、ホテル等の商業施設の資源分別やごみ排出状況と繁華街でのポイ捨て状況を把握し、的確な対策を進めてほしい。
- (2) 事業系ごみ（持込ごみ量）の削減について
- ① 事業者の取組分析と区の施策の実効性を議論するために特別部会を立ち上げたい。
 - ② 次期計画策定において地域特性を踏まえ、事業系ごみを主要課題として取り上げてはどうか。
- (3) 事業者の排出する生ごみリサイクル処理装置への助成制度を創設してほしい。
- (4) 事業者への立入検査件数を毎年度1,000件以上実施してほしい。

3 一般廃棄物処理基本計画全般

- (1) 現在の区における清掃事業全体の一人あたりの費用を明確に示してほしい。
- (2) 区民一人当たりの区収集ごみ量（ごみ総排出量）について
- ① ごみの総排出量に「資源（集団回収を含む）」や「事業系ごみ」は含まれるのか。
 - ② 令和5年度の清掃一部事務組合の新宿区部分のデータが、今回提供された新宿区のデータと相違がある。
 - ③ 5年間（R2～R6）の実績数値では、一人当たりのごみ量と総排出量は少しずつ減少または停滞しているが、その原因と今後の対応などの分かりやすい説明や具体的な提案を次期計画に入れてほしい。
- (3) 家庭ごみの有料化を進めてほしい。
- (4) 集団回収について、区集ごみについても区民が出すものと小規模事業者の排出するものを分けて回収量の動向やその背景を見てほしい。
- (5) 区民への周知啓蒙について、ごみの収集・運搬を民間に委託することにより、清掃職員による地域での周知啓蒙ができないか。